

医師事務作業補助者の受け持ち業務

中医協総会 2021年12月8日資料をもとに作成

● 主な業務（書類作成、外来業務、入院業務）はおよそ3年程度以上の経験で、受け持つ割合が一定となり、医療の質やその他業務は経験年数が増すにつれて受け持つ割合が高くなっていく。

医師事務作業補助者の受け持ち業務

NPO法人日本医師事務作業補助研究会調べ（2019年4月）回答数 3,135名

